

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 382

政策体系	23	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農政課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 3. 農業振 現年		
事業名	農業振興事業				
細事業名	各種団体関係事業				
評価表作成者				農林商工部 農政課	山口 美香

1. 事業の概要

農業公社等、市の農業振興上に必要な事業に対し支援する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

優良農地の保全及び地域担い手農家育成を図るための事業。
花と緑を通じて、市民の交流を図るための事業。
畜産農家と連携した堆肥の有効利用による土づくりや、環境保全を重視した農産物の生産を図るための事業。

② 事業を実施する必要性

農業者の高齢化や集落の過疎化の傾向が続くなか、集落営農の推進や専業農家や認定農業者に対する支援・育成が必要不可欠である。
また、それと併せて売れる米作りを支援し農家の取得向上を図るためにも本事業が必要不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	22,100	15,546	13,608	12,310	12,300	12,300	12,300
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	22,100	15,546	13,608	12,310	12,300	12,300
職員等の従事人員	人/年	—	0.20	0.25	0.45			
人件費	千円	—	1,241	1,789	3,083			
事業費総額	千円	—	16,787	15,397	15,393			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

京のふるさと産品価格安定協会負担金 197,000円
口丹波茶業振興協議会負担金 30,000円
両丹お茶まつり大会負担金 30,000円
バイオガス事業推進協議会会費 10,000円
京都丹波米良食味推進協会会費 30,000円
財園部町農業公社事業支援 6,300,000円
園部町花友の会活動支援 630,000円
美山ふるさと(株)事業支援 5,040,000円
船井農業青年クラブ活動支援 30,000円
関西茶業振興大会協賛金 13,000円

5. 事業結果の概要

南丹市の農業振興を図るための事業支援等を実施

6. 活動の詳細

各種負担金		
市が構成員となり活動している各種団体に対して、負担金、会費等を支出した	平成22年4月～平成23年3月	負担金 ・京のふるさと産品価格安定協会負担金 197,000円 ・口丹波茶業振興協議会負担金 30,000円 ・両丹お茶まつり大会負担金 30,000円 ・バイオガス事業推進協議会会費 10,000円 ・京都丹波米良食味推進協会会費 30,000円
活動支援【園部町「花」友の会】		
花と緑を育てることを通じて、町を美しく環境に配慮した住みよいまちづくりを目的に飾花事業を行った。	平成22年4月～平成23年3月	補助金：630,000円
活動支援【財団法人園部町農業公社】		
優良農地の保全及び地域担い手農家の育成を図るとともに、優れた自然環境や地域特性を生かしながら特産物の生産振興や農作業受委託の推進などを実践することにより活力ある農村社会の発展に資することを目的に活動を行った。	平成22年4月～平成23年3月	補助金：6,300,000円
活動支援【船井農業青年クラブ】		
農業青年が連携し互いに研鑽することで各自の経営の向上を図るとともに、農業地域の活性化に向けた活動を行った。	平成22年4月～平成23年3月	補助金：30,000円
活動支援【美山ふるさと株式会社】		
京都府環境KOS-180とともに連携し、売れる米づくりの推進のため、水稻栽培に堆肥を有効活用するとともに、認証野菜制度参加農家への堆肥供給散布事業を行った。	平成22年4月～平成23年3月	補助金：5,040,000円
協賛金		
関西茶業振興大会（京都府大会） 関西茶品評会、生産者意見発表会等（於：宇治市）	平成22年10月23日	大会協賛金：13,000円

7. 所属長評価【平成20年度から改善した点、今後の展開など】

交付団体の運営状況の把握及び地域貢献度を検証した。団体助成として引き続き助成対象とする。
平成22年度において、両丹お茶まつり大会への参加について論議し、平成23年度からは参加しないこととした。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

交付団体の運営状況の把握及び地域貢献度を検証した。団体助成として引き続き助成対象とする。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
交付団体の運営状況。
- ②当該事業のアピール事項
各団体とも地域の振興に役立っている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
引き続き助成対象とする。